

山形大学 YAMAGATA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

校友会会報

11
MARCH 2018



第38回東日本大学軟式野球選手権大会(平成29年11月)
軟式野球部が第三位に入賞!

Contents

校友会 NEWS	2
校友会学生幹事さんの活躍紹介 農学部創立70周年記念式典での卒業生リレー講演 情報発信プロジェクト マリモ講演会	
平成29年度事業紹介	4
事業紹介と参加学生さんのコメント	
事業に参加した学生さんからのメッセージ	6
先輩からのメッセージ	7
INFORMATION	8



平成29年度山形大学農場フェスティバル

校友会とは…

校友会は、山形大学の全ての在 student と卒業生、役員、教職員、退職者等の会員(生涯会費10,000円)で構成され、山形大学の応援団として山形大学や山形大学の学生等を支援する全学的な組織として平成18年12月に設立されました。

| 校友会 | NEWS |

1 校友会学生幹事さんの活躍を紹介します。



学生幹事委嘱状交付式

平成29年度に新たに発足した学生幹事さん12名(各学部2名)は、定期的に打合せ会を開催し、校友会の啓蒙を図るための方策を検討するとともに様々な事業にも参加してくれました。

特に、特筆すべき事業は、学生幹事さん自ら考案した活動「Twitterの開設」、「山大学生の活動支援プロジェクト」及び「Twitter拡散の推進」の実施です。

Twitterでは、校友会に関する情報をリアルタイムでツイートするのみならず、学生さんの活躍状況や大学の最新情報なども発信していただきました。そのお蔭で、3月現在ツイート数64、フォロー数455、フォロワー数233にもなりました。

山大学生の活動支援プロジェクトでは、13の学生団体から応募があり学生幹事の皆さんで厳正に審査し5団体に支援しました。採択された団体は、小中学生への支援や地域への貢献などいずれもボランティア活動が主体で、山大学生が地域社会と密接に関わり児童生徒の学力向上や地域社会の発展に携わっており、地域に根ざした本学のポリシーに合致し大変素晴らしいことです。このような学生さんの自主的な活動を校友会として支援できることは大変喜ばしいことです。

また、校友会支援事業や校友会主体事業にも積極的に参加していただき、取材や広報活動に努めていただきました。

1年間お疲れ様。そして、ありがとうございました。



校友会 Twitter 山形大学校友会の公式アカウントは、@YUkoyukaiです。

●平成29年度の学生幹事さんは、次の方々です。

人文学部	富田奈菜美さん	山本 有紗さん
地域教育文化学部	松川 昂さん	三宅 大誠さん
理学部	平尾 優汰さん	山口 芽衣さん
医学部	廣瀬 和仁さん	矢口怜央奈さん
工学部	加藤孝太郎さん	過足 未紗さん
農学部	齋藤 善哉さん	浅野 萌さん

2 農学部創立70周年記念式典において卒業生リレー講演が行われました。



創立70周年記念式典

平成29年10月14日(土)東京第一ホテル鶴岡を会場に、農学部創立70周年記念式典・記念講演会が行われ、卒業生や大学関係者172名が参加し、これまでの足跡を辿るとともにさらなる発展を祈念しました。

記念式典では、林田光祐農学部長の式辞、小山清人学長の挨拶の後、文部科学省高等教育局専門教育課長、山形県知事、鶴岡市長から祝辞が述べられました。

記念式典終了後、「当時の農学部を振り返って」をテーマにした卒業生によるリレー講演が行われました。各年代を代表する卒業生として金内英司氏(昭和25年卒)、奥泉久人氏(昭和61年卒)、滝澤匡氏(平成11年卒・平成13年修了)及び上山剛司氏(平成19年修了)の4名によるリレー講演が行われ、在学当時の校舎・演習林の様子や恩師・友人との思い出、現在の仕事内容などについて、写真やエピソード等を交えながら、順次ご講演をいただきました。このリレー講演には、一般市民や在学生の参加もあり、講演終了後には、「非常に良い講演だった。」「昔の農学部の様子が甦ってくるようだった。」などの感想が多数寄せられました。

その後の記念祝賀会では、林田農学部長の挨拶、比屋根哲岩手大学大学院連合農学研究科長及び菅原眞一農学部後援会長から祝辞が述べられた後、安田弘法鶴岡キャンパス担当理事の発声により山形大学農学部オリジナル純米大吟醸酒「燦樹(きらめき)」で乾杯。中盤では、アトラクションとして鶴岡キャンパスで活動する学生サークル「四面楚歌」によるダイナミックな花笠踊り(笠回し)が披露され会場が大いに盛り上がりました。最後に、佐藤農一鶴窓会会長による万歳三唱が行われ、盛会のうちに、記念祝賀会を終えることができました。



卒業生の金内さん(昭和25年卒)の講演

平成29年度に実施した事業の中から、新規或いは特徴ある4つの事業を紹介します。
在学生の活躍や先輩卒業生の第二の故郷「山形大学」での講演の様子。

3 山大生による 山形大学のための 情報発信プロジェクトを 立ち上げました。



フリーペーパーサークル「Y-ai」の皆さん

平成28年度より、「山形大学まで足を運ぶことが難しい。」という高校生や中学生、その保護者及び先生に向けたホームページ『山形大学バーチャルオープンキャンパス』をスタートしました。このホームページでは、【学】(学び・教育)、【留】(留学)、【食】(食生活)、【入】(入試)、【住】(住環境)、【金】(学費・奨学金)、【卒】(卒業後の進路)、【L】(学生LIFE)の8つのキーワードに沿った大学説明やキャンパス風景動画など内容もりだくさんでお届けしています。平成29年度からは、これまで以上に学生目線の記事に力を入れるため、校友会支援事業として『山大生による山形大学情報発信プロジェクト』を立ち上げ、フリーペーパーサークル「Y-ai」の協力のもと、コンテンツの充実を図っています。学生生活の一日に密着した「学生生活レポート」や山形大学生の食生活を通して学生生活を紹介します「山大生リアル飯」をY-aiの皆さんに担当していただいています。学生による記事が増えたことにより、これまで以上に山形大学を身近に感じていただける内容になりました。山形大学バーチャルオープンキャンパスは、<http://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/>からご覧いただけますので、是非アクセスしてみてください。

また、このプロジェクトはインターネット上だけではありません。昨今、早い段階からのキャリア教育が行われている実情を踏まえ、中学生向けに山形大学進学啓蒙ポスターを作成しました。力強いメッセージ性を感じるデザインのパスターにするため、題字は書道部に書いてもらいました。こちらのポスターは、山形県及び宮城県の中学校に配布しています。

エンrollment・マネジメント部では、今後も山形大学を身近に感じていただける入試広報活動を行っていきたいと思います。



書道部の学生さんと作成した中学生向け啓蒙ポスター

4 マリモ講演会を 開催しました。



若菜氏による講演会

平成29年12月20日(水)に理学部において、山形大学卒業生の人財バンク登録事業を活用した学生支援事業によるマリモ展示会及びマリモ講演会を開催しました。

卒業生人財バンクとは、山形大学の卒業生の方に、本学の学生に対して講演や相談・就職アドバイス等をお願いする校友会の学生支援事業のひとつです。

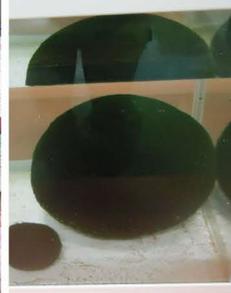
「マリモの保全活動を通じて学んだこと」をテーマに開催された本講演会は、理学部生物学科の卒業生である若菜勇氏(釧路市教育委員会生涯学習部マリモ研究室室長)を講師としてお招きし、多くの市民の方々、教職員、学生が聴講しました。

講演では、マリモの研究に携わるまでのお話から始まり、マリモが衰退を続ける様子や減少原因と生長条件、マリモとは何か、なぜ丸くなるのか、保全の実現に向けた取り組み、といった興味深い内容を説明していただきました。講演終了後には、多くの質問が飛び交っていました。絶滅危惧種に指定され、特別天然記念物でもある「阿寒湖のマリモ」の保全に係る現状と課題を分かりやすく講演していただき、聴講者からは「阿寒湖の環境構造の多様性によってマリモが丸くなるということが大変よく分かった」といった声が聞かれ、大変好評でした。

また、当日は、山形市立第五小学校5年生のみなさん約40人を招き、マリモの説明会を行いました。子供たちは、若菜氏が研究用に保存している2個のマリモを前にして、マリモは植物の仲間であることなど、その生態について説明を受け、マリモに直接触れる体験もしました。マリモに触った児童のひとり「マリモがこんなに柔らかいとは知らなかった。とても気持ちがいい」と言って歓声を挙げていました。



若菜氏によるマリモ説明会



本物のマリモです

校友会支援事業の紹介

修学支援事業

実践教育プログラム英語合宿

11月に学生19名、留学生6名及び担当教員1名の計26名が参加し1泊2日で実施しました。

参加学生さんのコメント

最後にあった班毎のプレゼンでは、英語力が伸びていくのを感じた。初めは、緊張と焦りで留学生の助けを得ながらでしたが、終盤には話すべき英語が直ぐに思い浮かび、スムーズに話せるようになった。英語合宿は、凄く楽しくあっという間の30時間でした。



グローバル化支援事業

新興国学生大使派遣プログラム

ラトビア大学(ラトビア)に12名、ガジャマダ大学(インドネシア)に4名、ベトナム国家農業大学(ベトナム)に4名、延辺大学(中国)に1名の計21名を派遣しました。

参加学生さんのコメント

日本語教室では、試行錯誤を繰り返しながら、成長することができました。日本と異なる点に戸惑うところもありましたが、優しくフレンドリーな現地学生のおかげで、とても濃密で楽しい日々を過ごすことができました。



課外活動支援事業

各キャンパス大学祭への支援

八峰祭(小白川キャンパス)10月21日(土)～22日(日)
吾妻祭(米沢キャンパス)10月7日(土)～9日(月)
鶴寿祭(鶴岡キャンパス)11月4日(土)～5日(日)

参加学生さんのコメント

八峰祭は、「地域を巻き込んだ大学祭」をコンセプトに、学生だけでなく地域の方にも楽しんで頂けるイベントを開催した。2日目は悪天候でしたが、次に活かす学びある大学祭となった。この経験を踏まえ、より質の高い大学祭を目指し新しい取り組みに挑戦します。



平成29年度に実施した継続支援事業14件、新規支援事業6件、校友会主体事業7件の計27事業の中から分野別に参加した学生さんのコメントを添えて紹介します。



就職活動支援事業

本学OB・OGから学ぶ業界・仕事研究セミナー
12月に企業の第一線で活躍する卒業生55名を招へいし、小白川、米沢及び鶴岡の各キャンパスから学生240名が参加、うち135名は職務適性試験を受験しました。

参加学生さんのコメント

比較的少人数の近い距離でOB・OGの方から、仕事のやりがいや入社した理由を聞くことができ、非常に良い機会になりました。また、1日で多くの業界の方々と会うことができたので、就活が本格化する前に自分自身の視野を広げることができて良かった。

大学・社会活動支援事業

科学で東北盛り上げ隊

9月に石巻市で開催した「科学で東北盛り上げ隊 in 石巻」に19名の学生が参加し、子ども達に科学実験の楽しさを伝えました。

参加学生さんのコメント

様々な団体から協力を受け、無事開催することができました。参加者の皆さんは、科学の不思議さ、楽しさに目を輝かせていました。次回は、より大規模なイベントとすることで、更に科学に親しんで頂けると良いと思っています。



会員相互の交流支援事業

第3回 山形大学若手卒業生の会

平成29年12月16日(土)
キャンパス・イノベーションセンター 国際会議室



若手卒業生の会

12月に東京都港区のキャンパス・イノベーションセンター等で開催し、首都圏の若手卒業生15名が講演会と交流会に参加しました。

参加学生さんのコメント

若手卒業生の会の目的は定めていません。それは参加者の各々で違って然るべきだと思うからです。首都圏にいる山大卒業生は皆良い意味で尖っていて、そんな人達と会うこと自体に価値があるということです。これからも自由に各々が「得たいものを得るために利用する会」であれば良いと思っています。

事業に参加した学生さんからのメッセージ

大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業

人文学部法経政策学科3年 鈴木 那菜さん

台湾の人々は、とても親切でフレンドリーです。その日が初対面にも関わらず、道を聞いたことをきっかけに一緒にご飯を食べ仲良くなった家族、芸術活動に参加したのがきっかけで沢山の台湾の魅力を案内してくれる芸術家の友人達、小さなきっかけで出来た繋がりが現在も続いています。

私は、この留学で初めて台湾に来ましたが、今では台湾で家族と呼べるような人たちが沢山できました。

また、寮や学校では、韓国・タイ・アメリカ・ドイツと様々な国の友達ができ、彼らと話すことで更に他の国への関心が高まり、生活習慣や考え方の違いが日々の良い刺激になっています。

私が高校生頃、自分が台湾に留学するなんて想像もつきませんでした。台湾に来た頃は、言葉が分からず壁を感じることもありましたが、その悔しさが「伝えたい」、「知りたい」という原動力に繋がっています。

交換留学をさせてもらったこと、そして支援してもらった沢山の人の心に感謝しています。

この留学で得た語学は、友人達との繋がりがより深まった好奇心を大切に更に海外で自分を成長させたいと日々研鑽しています。



中国語大会でチームメイトと(右)

クラスメイトとご飯(左から4番目)



選書ツアーにて

本の紹介を行うビブリオバトル

校友会推薦図書コーナー「後輩には是非、こんな本を読ませたい！」

農学研究科生物資源学専攻2年 青木 聡樹さん

私は、校友会推薦図書コーナー「後輩にはこんな本を読ませたい」(以後選書ツアー)と全国大学ビブリオバトル2017首都決戦山形予選会の2つの事業に参加させていただきました。

前者の事業では後輩達に薦めたい本を選ぶため、仙台の大型書店へと赴きました。数ある書籍の中から「普段本を読まない人でも興味を持てる本であること」、「その本を機に読書に興味を持ってもらえること」の二点を意識して選書し、POPの作成も行いました。後日知人から「選書ツアーで新しく図書館に入った本が面白そうだったので読んでみた」という話を聞いたときは選んだ甲斐があり良かったなと感じました。

後者の事業であるビブリオバトルとは「自分がお薦めしたい本について5分間のプレゼンを行い、「どの本を一番読みたいと感じたか」を基準に投票しチャンプ本を決定する」という競技です。私は前年度選書ツアーで選んだ「この世界が消えたあとの科学文明の作り方」という本で競技に挑みました。残念ながらチャンプ本にはなれませんが、参加した方々から「面白そう」「読んでみたい」という声をいただいたのが嬉しかったです。

また、本を通じて他学部や他大学の人と交流できたことも貴重な経験となりました。若い世代の読書離れが叫ばれて久しい昨今だからこそ、このような事業が行われることに大きな意義があるのではないかと考えています。

ビーチサッカー大会 in 庄内

農学部食料生命環境学科3年 草野 琢磨さん

農学部フットサルサークルと農学部事務室学務担当が中心となって、由良海岸でビーチサッカー大会を開催し、様々な学部の方々に参加しました。そして、大会では、私が所属する農学部フットサルサークルが優勝しました。

農学部は、他学部の方々と交流する機会が殆どないため、この大会が他学部とコミュニケーションを取る良い機会となっています。しかしながら、参加数は多いとは言えないので、もっと多くの学生の皆さんに、このイベントの楽しさを伝えていきたいです。友人と楽しくサッカーをし、昼はBBQで好きなだけ焼肉をタダで食べることができますので、思い出作りに参加してみませんか。

私達は、毎年「ビーチサッカー大会で優勝する!」という目標を立て、高い意識で練習に取り組んでいますので、このイベントの開催に協力している方々に大変感謝しています。

また、農学部フットサルサークルは、このビーチサッカー大会で二連覇していますので、次回も優勝を目指します。

この大会を通して、山形大学農学部を沢山の人の人知ってもらえるように努めますので、今後ともご支援の程よろしく願います。



優勝した農学部フットサルサークル(前列右から3番目)

急遽結成した職員チームとの対戦

学生中心に行う優良企業訪問への支援

理学部物質生命化学科3年 市川 美咲さん



企業の方々との記念撮影(右から3番目)

企業の方々との意見交換の様子

キャリアサポーターの活動を通して私が感じたのは、どの企業の方も皆自分の仕事にやりがいを持っているということです。仕事は辛いことも多いけれど、それを乗り越えた経験が自分を社会人として大きく成長させてくれた、という話は特に印象に残っています。私は今まで企業に就職すること自体が目標となり、実際に働くことについてはあまりイメージが持てませんでした。これらの話を聞き、私は数年後どのような社会人になりたいのか、深く考えさせられました。

また、実際に企業に訪問する前に、訪問先の企業のHPなどに隅々まで目を通し、限られた時間の中でどのような質問をすれば学生にとって有意義な情報を得ることが出来るか、メンバー同士で何度も検討を重ねました。その甲斐あって、作成したパンフレットは、その企業の生の声を含んだ貴重な内容にすることが出来たと思いますし、これらの経験は私にとって大きな自信へと繋がりました。

これらの経験から得られた考え方や気づきは、決して就活だけにとどまらず、これからの学生生活に活かせる点も多くあると思っています。

菅野 将央 さん

宮城県仙台地方振興事務所勤務
●農学部生物環境学科 平成10年卒業



マラウイでの測量(中央)

私の学生生活を振り返ると、決して褒められるような学生ではありませんでしたが、今の自分の骨格を作ったのは紛れもなく山形大学での4年間です。4年次の卒論ゼミでは、大学院生・同級生関係なく議論し、厳しく鍛えられ、充実したものでした。

また、アルバイト(塾講師)やサークル活動(映画)が大学の授業だけでは得られない‘教養’をさらに深めてくれました。

卒業後民間企業を経て、宮城県庁職員として勤務していましたが、2010年から2013年までの約3年間、現職のまま青年海外協力隊員として参加し、アフリカ・マラウイ共和国で農業土木技術者として活動する機会に恵まれました。異文化コミュニケーション、技術的な面を含め多角的視点から思考する経験は、人間としても技術者としても成長でき、私の人生の大きな財産となりました。

海外・国内に関係なく、大学で培ったものをもとに好奇心や柔軟な思考をもって挑戦することや人との出会いが、皆さんの人生に彩りを加えてくれるものと思います。

皆さんの今後のご活躍を心よりお祈りしております。



マラウイでの現地指導(中央)

黒田 詩織 (旧姓日野) さん

山形大学医学部附属病院勤務
●医学部看護学科 平成24年卒業



病棟ゲーステーションでスタッフと(前列席から2番目)

木の芽のふくらみ、花のつぼみに春を感じる嬉しい季節となりました。新しい環境になる学生さん方は、期待と不安で一杯の時期だと思います。先日は卒業生講演会ということで貴重な機会をいただきありがとうございました。

私にとっても学生時代や今までの出会いを振り返ることができ、改めて先生方や先輩・友人達への感謝の気持ちを再確認したところです。

講演会でもお話させていただきましたが、今までの出会いやこれからの出会いに今後の進路を左右するきっかけが隠れています。一つの事をとことん追求することも必要ですが、学生の時期しか得られないこともたくさんあります。是非視野を広げ多くのことに興味を持ち、取り組んでいただきたいです。無駄な時間や無駄な会いはないと思っています。たくさん学び、たくさん遊んで充実した学生生活を送ってください。もうすぐ始まる新しい生活が素晴らしいものになるよう、祈っています。



友人とバルセロナのサグラダ・ファミリアにて(左)

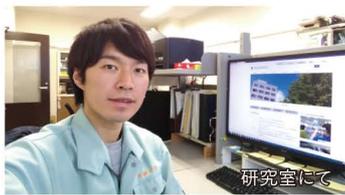
先輩からのメッセージ

Messages from SENPAI

農学部鶴窓会と校友会との共催で開催しました第5回卒業生講演会(平成29年11月25日(土))においてシンポジストを務めてくれた4名の先輩から後輩学生の皆さんに応援メッセージをいただきました。

矢作 友弘 さん

(独)国立高専機構 鶴岡工業高等専門学校勤務
●理学部物質生命化学科 平成16年卒業



研究室にて

山形大学理学部物質生命化学科を平成15年度卒業し、その後現在に至るまで、鶴岡工業高等専門学校の技術職員として勤務をしています。

私の主な仕事は、1)化学系の学生実験の指導、2)研究への技術支援です。これらの業務を行うにあたり、大学在学中に習得した化学に関連する基礎的知識や実験実習の技術が大いに役に立ちました。特に、実験実習や卒業研究で実際に体験したことは、座学では身に着けることのできないもので、非常に良い経験であったと感じています。

これらの仕事と並行して、私自身の研究にも取り組んできました。研究者としての能力を高めるため、私は山形大学大学院理工学研究科博士後期課程へ平成26年度に復学し、学部時代お世話になった恩師の元で、今再び研究へ打ち込んでいます。仕事と大学の両立は時間的に大変ですが、研究者として学ぶことも多く、大きなやりがいを感じています。

最後に在学生の皆様へ、学ぶ姿勢を忘れずに、それぞれの夢に向かって邁進して下さい。皆様のご活躍を祈念しております。



研究室の仲間達と(前列左端)

スーザン・プレイズ さん

山形大学農学部勤務
●農学研究科生物環境学専攻 平成26年修了



海苔巻き寿司でギネス挑戦?
(手前左から3番目)

Being a university student an important stage therefore, utilize this valuable time to have as many experiences as you can. It is through such various experiences that you expand your network

and become well acquainted with not only university life but also the outside world. This shall come handy once you join the work force outside the university.

Of course, this still is the most challenging period where you have to choose a path that will ultimately impact your whole life. Under such circumstances remember to seek guidance. As a student you will have a few challenges to deal with, you will be lost and overwhelmed. This should not discourage you, it all comes to pass when you persist! Just like any other person challenges are part and parcel of the whole beautiful story you have to remember not to give up. Four years of university life may seem along time at the beginning but in the end, it turns out to be the shortest and you don't want to regret not having the best out of it. So please, enjoy your university to the fullest and make the best out of it.



友人たちと小旅行
(左から2番目)

山形大学同窓会一覧 (平成 30 年 3 月現在)

同窓会名	会長等名	連絡先
ふすま同窓会	会長 野村 一芳	〒990-0034 山形市東原町 1-9-4 ふすま同窓会館内「ふすま同窓会」事務局 TEL・FAX : 023-633-9927 E-mail : fusumadosokai@yahoo.co.jp
地域教育文化学部同窓会	会長 木村 康二	〒990-0021 山形市小白川町 1-13-27 地域教育文化学部同窓会館内 「地域教育文化学部同窓会」事務局 TEL・FAX : 023-633-0567
医学部医学科同窓会「蔵王会」	会長 山下 英俊	〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2 山形大学医学部医学科同窓会「蔵王会」事務局 TEL : 023-628-5157 E-mail : yamadai@zao-kai.jp
医学部看護学科同窓会「樹水会」	会長 小林 淳子	〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2 山形大学医学部看護学科同窓会「樹水会」事務局 FAX : 023-628-5464 E-mail : juhyo@n-yu.jp
一般社団法人 米沢工業会	理事長 上村 勲二	〒992-0038 米沢市城南 4-3-16 山形大学工学部内「一般社団法人 米沢工業会」事務局 TEL・FAX : 0238-22-7866 E-mail : yzkgkai@dipfr.dip.yz.yamagata-u.ac.jp
鶴窓会	会長 佐藤 晨一	〒997-8555 鶴岡市若葉町 1-23 山形大学農学部内「鶴窓会」事務局 TEL・FAX : 0235-28-2897 E-mail : kakusokai@kdp.biglobe.ne.jp

※学生さんや卒業生の皆さんからのご連絡をお待ちしております。

校友会への入会案内

山形大学校友会に未だ加入されていない卒業生の皆さまへ(お願い)

校友会は、本学学生の修学、課外活動及び就職活動並びに全学的なキャンパス間の交流活動の支援を行うとともに、会員相互の親交を図り「山形大学コミュニティ」の醸成や強化に資するために様々な事業を展開しております。

具体的な事業は、会報で広報しているとおりでありますが、これらの事業は、本学の在学生、卒業生、役員、教職員及び本会の趣旨に賛同していただいた会員からの生涯会費(10,000円)により実施させていただいております。

については、より多くの皆さまに、是非ご加入をお願い申し上げます。

会員(除く入学時加入会員)の方には、定期的に校友会会報や大学の様々な広報誌を送付させていただいております。

..... 山形大学コミュニティ



入会申込手続き: 払込取扱票に必要事項をご記入いただき、『郵便為替』により生涯会費1万円をお振り込みください。

(払込取扱票は、校友会事務局にありますので、ご連絡ください。)

入 会 日: 会費の納入により入会とさせていただきます。

メルマガ発信のお知らせ及び山形大学や学生への応援メッセージ寄稿のお願い

- 校友会では、山形大学や校友会に関する様々な情報を提供するために、校友会メールマガジン「みどり樹通信」を毎月配信しています。メールマガジンは、校友会ホームページ上から簡単に申し込みができます。

メールマガジン

■ 山形大学校友会メールマガジン登録

「山形大学校友会メールマガジン」への登録を行います。
入力いただいた個人情報は、メールマガジンの配信のみに使用し、他の目的には使用いたしません。
山形大学校友会における個人情報の取扱いについては、「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。
上記内容について同意いただき、下の登録ボタンからメールマガジンの登録を行ってください。

[同意して登録](#)

- 卒業生の皆さまからの寄稿を広く募集しています。山形大学や在学生への応援メッセージ、学生時代の思い出など何でも結構です。
※ご寄稿いただける場合は、校友会事務局までお知らせください。

編集後記

校友会は、今年度委嘱した12名の学生幹事さんから様々な意見を出していただき、学生目線での運営を取り入れることができました。特に、学生幹事さんが自ら企画立案し実施した「Twitterの開設と拡散」及び「学生団体への活動支援」は、画期的な活動であったと言えます。今後も引き続き学生さんの様々なアイデアを取り入れるとともに、校友会事業の運営面にも積極的に参加していただき、より一層充実した活動を行っていきたく考えています。引き続き、皆様のご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします

山形大学エンrollment・マネジメント部

山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL:023(628)4867 FAX:023(628)4185 E-mail:ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉 <http://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>



校友会HP



Twitter
@YUkouyukai